

令和4年度
経営本部等事業計画書



社会福祉法人

池上長寿園

IKEGAMI CHOJUEN

目次

I	社会福祉法人池上長寿園令和4年度基本方針	1
1	社会福祉法人を取り巻く状況	1
2	令和4年度収支見通し	1
3	令和4年度基本方針	1
II	令和4年度に取り組むべき重点課題、予算編成における推進項目	2
III	経営本部等事業方針	3
1	法人経営機能の新たな構築に向けて	3
2	経営本部等事業計画書(課・室別)	5
	(1) 経営企画課	5
	(2) 人財課	6
	(3) 管理課	7
	(4) 総務課	8
	(5) 大規模修繕担当(総務課)	9
	(6) 調整担当(総務課)	10
3	リスク管理・監査室	11
4	経営支援室	12
5	事業担当(施設)(在宅)(公益)	13

※事業計画書の計画項目は以下のとおり

計画項目
1)基本方針
2)重点目標
3)取組事項(※業務計画より抜粋(別途、作成))
※プロセス項目
①達成目標
②具体的取り組み
③KPI(指標)

I 社会福祉法人池上長寿園令和4年度基本方針

1 社会福祉法人を取り巻く状況

人口減少や高齢化の進展などによる社会構造の変化や、新型コロナウイルスの蔓延による地域社会での繋がりの希薄化などにより、社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化しています。また、感染症対策に加えて、度重なる大規模災害の発生を踏まえてた災害対応力の強化も求められています。さらに、「2040年問題」や「地域共生社会の実現」など、これまで以上に地域におけるさまざまな生活課題・福祉課題に積極的に対応していく必要もあります。池上長寿園は、引き続き地域からの信頼と支持を得ていくとともに、時代に即した持続可能な法人経営を実現していかなければなりません。

2 令和4年度収支見通し

「未来への創造プラン3.1」では、令和4年度の事業活動収入を51億6,000万円、事業活動支出を51億4,000万円としています。事業活動収入では、前年度と比較し、通所事業の増収を約1億円程度と見込んでいます。一方、事業活動支出では、システム関連経費等で約1億円程度の増を見込んでいます。令和4年度目標数値は収支差額2,000万円としておりますので、収入および支出の統制は目標達成に向けて不可欠となってきます。

近年の介護報酬の推移をみると、大規模修繕に伴う減収もありますが、利益率は低下傾向にあり、令和4年度の目標数値を達成するためには、これまで以上の増収への取り組みに加え、何よりも支出の大幅な縮減が必要です。

3 令和4年度 基本方針

【 Change(チェンジ)&Challenge(チャレンジ) 】

池上長寿園は、残念ながら経営資源で最も重要な「人財」が不足傾向にあります。さらに介護報酬の減収も続いています。このような状況でこれまでと同じことをこれまでと同じやり方で実施していれば、法人の存続自体が危ぶまれる危機に陥ってしまいます。

法人の経営理念である「未来への創造」は、未来に向けて新しい取り組みを作り出していくこと、そして「歴史を紡ぎ」つまり創業時の思いを引き継ぎ、そのうえで「今」に挑戦する」すなわち今ここにある危機・課題に積極果敢に立ち向かっていくことを徹底します。

そこで令和4年度の事業基本方針のキーワードは、持続可能な池上長寿園へと脱皮するための基礎固めとして、「Change & Challenge」とします。大胆なChange&Challengeによる100年続く社会福祉法人であるための事業計画の策定および予算の編成としております。

Ⅱ 令和4年度 取り組むべき重点課題、予算編成における推進項目

令和4年度に取り組むべき「重点課題」

- (1)「利用者満足度の向上」顧客価値創造の視点に立った選択の範囲と集中へのアプローチ
 - ・顧客の視点での経営、継続的な自己革新の中で顧客の求める価値を創造し続ける仕組み
- (2)「職員満足度の向上」engagementが高まるHRM
 - ・職員の法人に対する愛着や思い入れ、帰属意識などを高め、職務へのモチベーションを高める実践
- (3)「働き方改革の推進」生産性向上に向けた戦略的広報の実践
 - ・法人の築き上げた知見を見える化し、ICT等の技術を積極的に活用しながら組織横断的な仕組みづくり等の実践

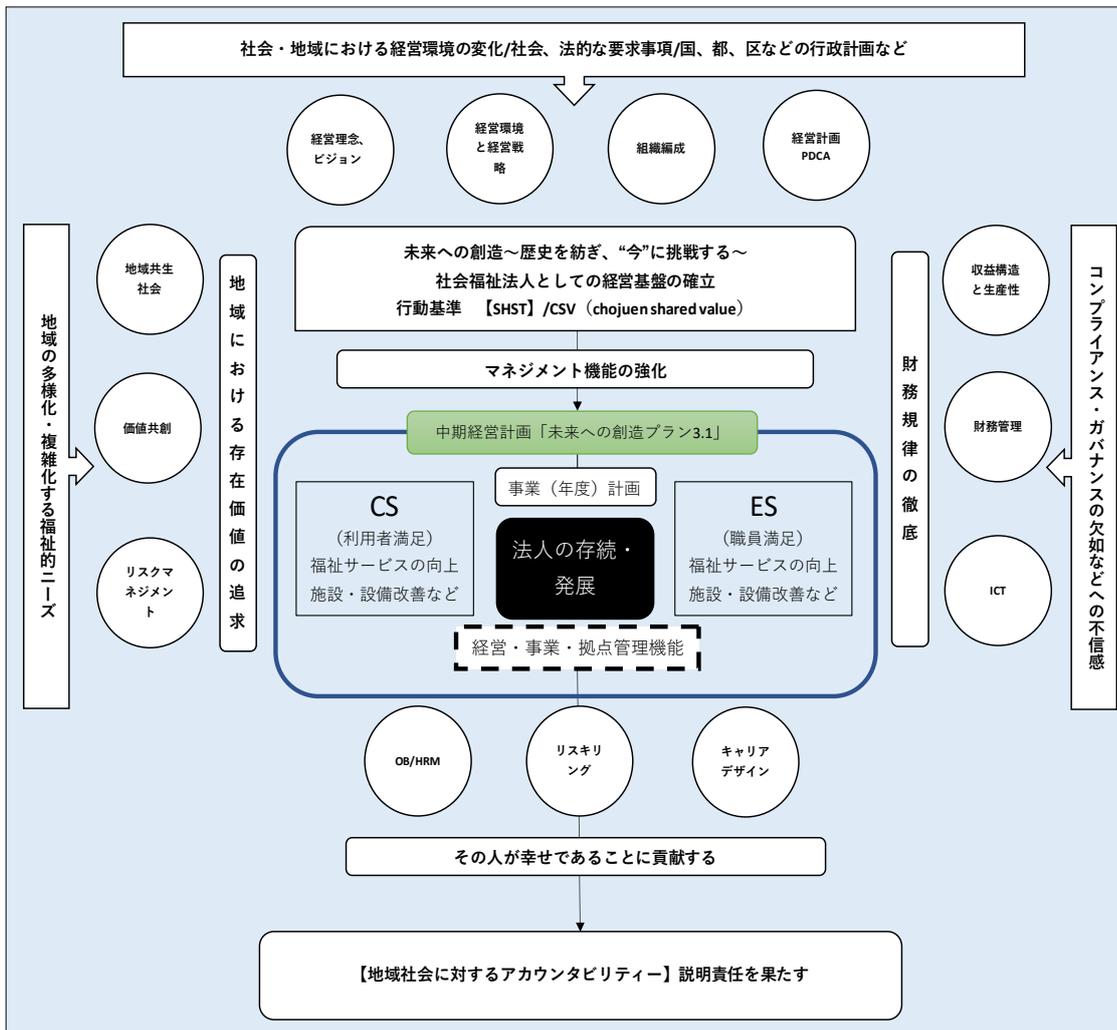
令和4年度における予算編成における推進項目

経営の安定に資する取り組みとして、①基幹事業収益の確実な確保、②事業構造の再編、③予算統制の実現の3点(財務戦略)は「すべき項目(must項目)」と位置づけ、収入および支出等の事業計画書への記載は全事業必須とします。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1)「利用者満足度の向上」<ol style="list-style-type: none">①新しい生活様式を踏まえたサービス提供の構築②事業別・機能別成果・評価指標の構築③CSVに向けた研究・開発(2)「職員満足度の向上」<ol style="list-style-type: none">①人的資源に適正配分の仕組みづくり②キャリアデザインの推進③未来を紡ぐ経営人財の育成(3)「働き方改革の推進」<ol style="list-style-type: none">①法人の価値を最大化するブランディング②情報リテラシーの向上③ICTの活用 |
|--|

Ⅲ 経営本部等事業方針

1 法人経営機能の新たな構築に向けて



法人経営機能の更なる整理に向けて、効率的で生産性の高い組織づくりへの取り組みは、計画的かつ継続的な検証および検討から生まれるビジョンをもって進めていきます。

以下について具体的な取り組みといたします。

○経営管理機能の構築

経営環境に法人組織を適応させ、事業の安定性・持続可能性を図るためには、事業計画および予算の統制は必要不可欠です。また、リスク・連携・継続と組織機能の強化に必要な3要素を共通ワードとして展開した経営管理モデル(マネジメントサイクル)を深化させ、①「事業戦略」(「目指す姿」+「実現するためのシナリオ」)、②「組織戦略」(「理想とする組織の姿」+「実現するためのシナリオ」)として、組織運営におけるアクションプランとして視覚化していきます。

また、3.1連動分析等から導きだされた組織文化、風土から、新たに目指すべき方向性への合意形成はガバナンスの徹底をもって解決をはかり、付加価値として、マネジメント機能の役割分化を図っていきます。さらに事業計画および予算の執行は経営環境の変化への連動性を意識しつつ弾力性のあるものとする一方で、高い規律と統制をもって臨むものとしします。

○法人予算概要

令和4年度法人全体の予算概要は次のとおりです。

(千円)

第 1 種 社 会 福 祉 事 業 合 計		3,464,698
第1種社会 福祉事業	特別養護老人ホーム(短期入所生活介護合)	3,229,094
	養護老人ホーム	179,967
	軽費老人ホーム	55,637
第 2 種 社 会 福 祉 事 業 合 計		1,058,155
第2種 社会福祉 事業	通所介護(総合事業合)・認知症対応型通所介護事業	960,746
	ヘルパーステーション	42,087
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	45,060
	本部	10,262
公 益 事 業 合 計		637,408
公益事業	ケアプランセンター	36,670
	地域包括支援センター	468,934
	介護予防	5,200
	シニアステーション	93,695
	若年性認知症支援相談窓口	19,735
	その他	13,174
事 業 活 動 収 入 計 ①		5,160,261
支 出	(人件費)	3,407,500
	(事業費)	737,832
	(事務費)	831,878
	(その他費用)	3,392
事 業 活 動 支 出 計 ②		4,980,602
事 業 活 動 資 金 収 支 差 額 ③ (③=①-②)		179,659

(1) 経営企画課

① 課の基本方針

未来への創造プラン3.1との連動性を意識し、事業の安定性・持続可能性を高めるため、更なるガバナンスの強化に取り組みます。また、経営管理機能の更なる発揮は、「リスク・連携・継続」を仕組み化し、法人の生産性の向上につなげます。

② 課の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-1	人的資源の適正配分の仕組みづくり
情1-1	法人の価値を最大化するブランディング

③ 課の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI(指標)	具体的取り組み
R1-2	法人全体での業務の標準化	業務分掌改定	<p>所管業務分掌の整理および業務量算定を行います</p> <p>-----</p> <p>他課、事業部門の業務量算定に基づく、分掌の整備を行います</p>
人1-1	人的資源の有効活用	法人配置定数基準の制定	<p>内部統制の構築に向けた配置基準を整備します</p> <p>-----</p> <p>事業別の配置定数算出基準の作成を行います</p>
情1-1	戦略的広報による法人の価値向上	採用応募数の増加	<p>法人広報委員会、統括事業所長会と連携し、戦略的広報の体制構築を図ります</p> <p>-----</p> <p>ホームページの内容の整理、分析、更新を行います</p>

(2) 人財課

① 課の基本方針

法人職員の働きやすさ、働きがいを実現するために安定した職員採用・育成・定着に向けた取り組みを実践し、engagement向上に寄与します。また、所管における業務の見直し、検証を行い超過勤務削減を目指します。

② 課の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-1	人的資源の適正配分の仕組みづくり
情1-1	法人の価値を最大化するブランディング

③ 課の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI (指標)	具体的取り組み
R1-2	業務標準化	業務フロー 作成	所管事務を見直してムリ・ムダを検証し生産性の向上を図ります
			他課と連携して経営本部内の業務分掌の見直しおよび業務フローを作成します
人1-1	人的資源の適正配分	採用計画書 研修計画書	外部・内部環境の状況把握、分析を行いながら採用計画、方法について見直し、検証します
			法人内研修等の充実を図り、人財育成・定着を推進します
情1-1	多様な働き方改革の推進	キャリアデザイン 広場	他課と連携し長寿園ニュースでキャリアデザインについて情報発信します
			多様な働き方の更なる充実を目指すため、労働条件等検証します

(3) 管理課

① 課の基本方針

未来への創造プラン3.1に基づき、安定した法人経営、持続可能な社会福祉法人のため、基幹事業収益の確保と併せ、事業計画と予算の整合性、適正管理の追求により収入の向上を図ります。

② 課の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-1	人的資源の適正配分の仕組みづくり
情1-3	ICTの活用

③ 課の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI (指標)	具体的取り組み
R1-2	業務分掌の整理	管理課 担当業務の 標準化	財務戦略における業務の標準化を推進します ----- 所管における業務フローの作成および標準化を推進します
人1-1	職員の適正配置	適正な人件費 比率や 役割に応じた 職員配置	大規模修繕期間における職員の適正配置など他課と連携し円滑な事業再開を図ります ----- 人的資源活用のため、HRM等必要な研修を受講します
情1-3	ICT活用	ペーパーレス 会議促進	所管する会議体は積極的にWEB会議やICTを活用します ----- 事業計画・報告書・業務計画書・月報、四半期報告様式の再度見直しを図ります

(4) 総務課

① 課の基本方針

業務マニュアルの作成等を通して超過勤務縮減および年休の計画的取得を進めるとともに、担当事務の属人化を払拭し、ジョブローテーションの実践に繋がります。併せて、会議時間の短縮やサイボウズの有効活用に取り組みます。これらの取り組みを通して、法人全体の働き方改革の実現に寄与します。

② 課の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-1	人的資源の適正配分の仕組みづくり
情1-2	情報リテラシーの向上

③ 課の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI (指標)	具体的取り組み
R1-2	担当業務の標準化	業務 マニュアルの 策定	所管事務を詳細に分析し、スクラップできる業務を洗い出します ----- 業務の流れがわかるフローを作成し、課内で検証します
人1-1	業務量の平準化 会議開催回数および時間の削減	時間外勤務 の50%縮減 および年次有 給休暇5日以 上取得	効率的な業務遂行のため、状況に応じて業務分担を見直します ----- 資料の事前配付や進行のルール化等により会議時間の短縮を図ります
情1-2	サイボウズの更なる有効活用	サイボウズ 実践的活用マ ニュアル策定	他課と連携してサイボウズ内のデータを整理し、使いやすいものとし ます ----- サイボウズの機能を検証し、法人事務の現状に則した有効な活用方法を検討します

(5) 大規模修繕担当(総務課)

① 基本方針

入居者にとって暮らしやすい、職員にとって働きやすいこれからの高齢者施設の再スタートとして実施する大規模修繕が滞りなく進むように各施設の工事の進捗管理を行います。

② 担当の推進項目

項目	内容
R1-1	新しい生活様式を踏まえたサービス提供の構築
人1-2	キャリアデザインの推進
情1-1	法人の価値を最大化するブランディング

③ 担当の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI(指標)	具体的取り組み
R1-1	区立施設大規模修繕工事の基本計画への法人意見の反映	区立施設大規模修繕基本計画作成	修繕対象施設の建物状態を把握し大田区が行う建物調査等へ協力します ----- 大規模修繕に伴う諸課題について大田区と協議します
人1-2	大森大規模修繕工事竣工および事業再開後の契約不適合箇所の補修対応	工事竣工と補修工事の実施	竣工前後の施工状況の確認を行い補修工事をもれなく行うよう管理します ----- 事業再開後の施設への不具合等ヒアリングを行い瑕疵の補修対応等を確実に実施するよう管理します
情1-1	池上大規模修繕工事着工および工事進捗管理	池上工事着工	池上工事定例会議へ参加し、工事監理者と連携して工事の進捗を管理します ----- 継続事業(養護、在宅)と工事工程間の各種調整を行います

(6) 調整担当(総務課)

① 基本方針

法人情報システムの安定的な運用調整を図るため、ICTの活用による業務効率化等についてシステム担当の立場からサポートするとともに、情報セキュリティに関する職員の意識向上に向けた取り組みを実施します。さらに、職員の労働環境に留意し、適正な業務管理を行います。

② 担当の推進項目

項目	内容
R1-3	CSVに向けた研究・開発
人1-2	キャリアデザインの推進
情1-2	情報リテラシーの向上

③ 担当の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI(指標)	具体的取り組み
R1-3	ICT活用した職員教育体制の構築の基礎作り	介護記録システムを導入	介護記録システム導入事業に参画し、法人情報システムの一つとして安定稼働するように調整します ----- 記録システムが運用開始されるまでサポートします
人1-2	安心して働き続けることができる労働環境の推進	車両保険料10%減	各種事故防止装置を装着した送迎車両を順次導入します ----- 送迎の安全運行に適した車種や設備等について情報収集し研究します
情1-2	情報リテラシーの向上	セキュリティ訓練 ファイル開封率10%以下	マネジメント層向けの情報セキュリティ研修計画を作成するための研修等に参加します ----- 情報セキュリティ研修計画を作成し、実施します

3 経営本部等事業計画(課・室別)

(1) リスク管理・監査室

① 基本方針

リスクマネジメントを徹底することで、ご利用者の生活の質とサービスの向上を実現するため、災害対策、事故防止、法令遵守、職員育成に取り組みます。

② 室の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-2	キャリアデザインの推進
情1-2	情報リテラシーの向上

③ 室の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI (指標)	具体的取り組み
R1-2	監査機能の強化	サービスの質の向上、適正な施設経営の支援	リスクや課題を把握し年間計画、各監査のねらい・ポイント等を明確にして、効果的な監査を実施します ----- 監査の機会を活用して、法令遵守、適正な施設経営を担える職員を育成します
人1-2	介護・交通事故防止体制の構築	介護事故 交通事故の 20% 削減	事故削減のため調査や施設巡回、情報提供等を行うとともにキャンペーン、研修、安全運転管理者の配置と活用を進めます ----- 事故、ヒヤリハット、サービス提供上の課題等を整理・分析し法人共通の財産として活用します
情1-2	情報活用によるリスク管理体制の強化	BCPの 運用支援	防災や感染症の正しい情報を活用して防災に役立て、また的確な判断ができる人材を育成します ----- 施設と本部のBCP(事業継続計画)に基づき研修・訓練、情報提供等を行い実行性を高めた計画にバージョンアップさせます

(1) 経営支援室

① 基本方針

未来への創造プラン3.1の経営方針である「社会福祉法人としての経営基盤の確立」のため、予算統制に向けた組織横断的な支援の実施と経営人財育成の場としていきます。

② 室の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-3	未来を紡ぐ経営人財の育成
情1-2	情報リテラシーの向上

③ 室の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI (指標)	具体的取り組み
R1-2	予算統制の実現	予算の 執行管理	予算執行管理表を見直し、予測に基づく月次管理を実施します
			執行状況に基づく経営支援を定期的に実施します
人1-3	経営人財の育成	介護福祉 経営士2級 取得	継続的な事業所訪問およびモニタリングによる事業理解を深めます
			経営会議において、事業所訪問の公表を実施します
情1-2	財務分析の活用	月次 報告書	経営支援を実現するための財務分析を実施します
			財務分析を活用し、収支計画等に反映するためのデータを作成します

(1) 施設事業担当

① 基本方針

利用者に満足度の高いサービスを提供するために、尊厳保持や自立支援の視点に立った質の高い個別ケアを多職種連携のもと推進します。また、経営管理の取組に基づいた働き方の効率化を本部、事業部門との相互理解のもと取り組みをもって推進します。

② 担当の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-2	キャリアデザインの推進
情1-3	ICTの活用

③ 担当の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI(指標)	具体的取り組み
R1-2	業務標準化	業務標準化マニュアルの策定	業務構造を整理し業務量、質を可視化します
			特養事業における組織プロフィールを作成します
人1-2	安心して働き続けることができる職場環境づくり	定着率の向上	持ち上げない介護の体制づくりを推進します
			他課および事業部門と協働し職員が定着、活躍できる仕組みづくりを行います
情1-3	ICTを活用した科学的介護の仕組みづくり	加算取得	事業部門との連携および施設長等会議・連絡会を活用した科学的介護を推進します
			LIFEに基づくデータの収集・分析・フィードバック・プランへの反映およびPDCAサイクルを確立します

(2) 在宅事業担当

① 基本方針

利用者の尊厳保持、自立支援の視点にたった個別ケアの確立に取り組みます。そのことを実践する為に、チームケア(多職種連携)を主体とした働きやすい職場を創っていきます。また、経営管理の取組に基づいた働き方の効率化を組織横断的に取り組みます。

② 担当の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-2	キャリアデザインの推進
情1-3	ICTの活用

③ 担当の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI(指標)	具体的取り組み
R1-2	業務標準化とセルフアセスメント	直接支援時間の増加	業務構造の整理と業務量・質を見える化します
			組織プロフィールの作成を通じたセルフアセスメントに取り組みます
人1-2	安心して働き続けることができる職場環境づくり	定着率の向上	移乗補助用具等の導入と活用推進に取り組みます
			利用者・職員の共感によって価値創造ができる仕組みづくりを行います
情1-3	ICTを活用した科学的介護の仕組みづくり	サービスの質の向上とともに加算の取得	利用者の自立支援や尊厳保持の為に、科学的介護の根拠づくりに取り組みます
			LIFEと連動した記録システムのパイロット運用を行います

(3) 公益事業担当

① 基本方針

持続可能な社会福祉法人として安定的な経営体制を構築し、地域共生社会実現のため、池上長寿園の新たなモデルの構築を図ります。併せて地域包括支援センターの働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みを構築します。

② 担当の推進項目

項目	内容
R1-2	事業別・機能別成果・評価指標の構築
人1-3	未来を紡ぐ経営人財の育成
情1-3	ICTの活用

③ 担当の取り組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	達成目標	KPI(指標)	具体的取り組み
R1-2	地域共生社会の実現に向けた公益事業の役割明確化	包括主催 地域ケア 会議開催	地域課題発見や政策形成を意識した地域ケア会議を展開します ----- 地域共生社会実現に向けた池上長寿園の地域づくりを支援します
人1-3	キャリアデザイン推進 安心して働き続けることができる環境づくり	離職率 低減	地域支援事業に従事する職員マニュアルや研修の体系化を図ります ----- 職員の定着のための仕組みを構築します
情1-3	ICT活用による地域共生社会の実現	ICT活用 促進	介護予防等の地域支援事業におけるICT活用を促進します ----- 大田区若年性認知症支援相談窓口におけるWEB予約システム導入やWEB会議等を活用した相談体制により利便性を向上します